

理事長講演・会長講演・特別講演・招請講演

BL 理事長講演 13:30~14:00
11月6日(第1日) 第1会場
日本肺癌学会の現在とこれから
座長: 池田 徳彦 (東京医科大学呼吸器甲状腺外科学分野)
演者: 山本 信之 (和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座)

CL 会長講演 13:00~13:30
11月7日(第2日) 第1会場
呼吸器悪性腫瘍の治療成績向上を目指して
座長: 弦間 昭彦 (日本医科大学)
演者: 高橋 和久 (順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

SL 特別講演 11:00~11:50
11月8日(第3日) 第1会場
腫瘍浸潤リンパ球の解析から見えてきたもの
座長: 前門戸 任 (自治医科大学内科学講座呼吸器内科学部門)
演者: 富樫 庸介 (岡山大学学術研究院医歯薬域(医)腫瘍微小環境学分野/岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科)

IL1 招請講演 1 16:20~17:10
11月6日(第1日) 第1会場
Lung Cancer Promotion and Prevention: Myeloid mayhem
座長: 河野 隆志 (国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター)
演者: Charles Swanton (The Francis Crick Institute, Cancer Evolution and Genome Instability Laboratory, UK)

IL2 招請講演 2 11:20~12:10
11月6日(第1日) 第5会場
The Hidden Driver of Post-Pandemic Cancer: Nervous System Dysregulation as the Critical Missing Link in Oncology
座長: 鈴木 実 (熊本大学呼吸器外科・乳腺外科)
演者: Malcolm Brock (The Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

IL3 招請講演 3 10:40~11:30
11月7日(第2日) 第1会場
iPS細胞を用いた呼吸器再生医学の展開
座長: 服部 登 (広島大学大学院医系科学研究科分子内科学)
演者: 後藤 慎平 (京都大学 iPS 細胞研究所)

IL4 招請講演 4 18:00~18:30
11月7日(第2日) 第2会場
日本の医学研究について~働き方改革を超えて~
座長: 田島 健 (順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学)
演者: 堀岡 伸彦 (厚生労働省/順天堂大学/(元)文部科学省)

IL5 招請講演 5 16:50~17:40
11月7日(第2日) 第3会場
我が国の創薬力向上に向けての課題と今後の取り組み
座長: 井上 彰 (東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野)
演者: 藤原 康弘 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA))

IL6 招請講演 6 17:45~18:35
11月7日(第2日) 第3会場
Lung screening and biomarkers for early detection and management of lung cancer
座長: 西岡 安彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野)
演者: David CL Lam (Department of Medicine, University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China)

IL7 招請講演 7 10:05~10:55
11月8日(第3日) 第1会場
Innovations in the Oncologic Surgery for Thymic Malignancies
座長: 鈴木 健司 (順天堂大学大学院医学研究科呼吸器外科学講座)
演者: Chang Hyun Kang (Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Seoul National University College of Medicine, Seoul National University Hospital, South Korea)

IL8 招請講演 8

13 : 00~13 : 50

11 月 8 日 (第 3 日) 第 1 会場

Hope and progress in lung cancer

座長：宿谷 威仁 (順天堂大学大学院医学研究科呼吸器
内科学)

演者：David P. Carbone (James Thoracic Oncology
Center, Ohio State University
Medical Center, Columbus,
Ohio USA)

IL9 招請講演 9

11 : 00~11 : 40

11 月 8 日 (第 3 日) 第 6 会場

AI and fMRI for Patients with Lung Cancer and Brain

Lesions

座長：鈴木 一廣 (順天堂大学医学部放射線診断学講
座)

演者：Haris Sair (The Johns Hopkins University)

会長特別企画・篠井・河合賞受賞記念講演

CP1 会長特別企画 1

14:05~16:05

11月6日(第1日) 第1会場

Meet the Experts

座長：高山 浩一（京都府立医科大学大学院内科学呼吸器内科分野）

岡田 守人（広島大学腫瘍外科）

CP1-1 研究者として仕事とキャリアを完遂する方法とコツ（私の場合）

浅村 尚生（白鳳会東京曳舟病院）

CP1-2 肺がん研究 山あり谷ありーチエ・ヒト・カネ・コネ

光富 徹哉（和泉市立総合医療センター／近畿大学医学部革新医学講座）

CP1-3 肺癌薬物療法と有害事象対策研究 幸運な内科医が若者に伝えたいこと

弦間 昭彦（日本医科大学）

CP1-4 野口分類の顛末

野口 雅之（湘南鎌倉総合病院病理部）

CP1-5 放射線治療の視点から考える「本来あるべき肺癌診療」

大西 洋（山梨大学医学部放射線治療学講座）

CP2 会長特別企画 2

14:20~15:50

11月6日(第1日) 第11会場

Meet the Foreign Experts

総司会：宮脇 太一（順天堂大学医学部附属順天堂医院呼吸器内科）

ファシリテーター：工藤 勇人（東京医科大学呼吸器・甲状腺外科学分野）

立原 素子（神戸大学大学院医学研究科内科学講座呼吸器内科学分野）

岡本 勇（九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野）

山田 忠明（京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

虎澤 匡洋（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

Experts：Paul Van Schil（IASLC President, Antwerp

University Hospital and

Antwerp University, Belgium）

Heather Wakelee（Stanford University/Stanford Cancer Institute, US）

Malcolm V. Brock（The Johns Hopkins University School of Medicine, USA）

David Carbone（The Ohio State University, US）

Charles Swanton（The Francis Crick Institute, Cancer Evolution and Genome Instability Laboratory, UK）

CP3 会長特別企画 3

8:30~10:30

11月7日(第2日) 第1会場

肺癌を通して社会保障を再考する

座長：後藤 悌（国立がん研究センター中央病院）

白岩 健（国立保健医療科学院）

CP3-1 持続可能な社会保障の構築に向けて

吉野維一郎（財務省主計局）

CP3-2 肺癌治療の進歩，肺癌治療のコスト

渡邊 景明（東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院呼吸器内科）

CP3-3 診療ガイドラインと費用対効果

池田 俊也（国際医療福祉大学医学部公衆衛生学）

CP3-4 限りある医療資源をどのように配分すべきか

堀岡 伸彦（厚生労働省／順天堂大学）

CP3-5 医療を制限することを社会に問うには

鴨下 一郎（元衆議院議員）

CP3-6 自分たちの無駄を省く

國頭 英夫（日本赤十字社医療センター化学療法科）

CP4 会長特別企画 4

13:55~15:25

11月8日(第3日) 第1会場

コンパニオン診断薬はこの時代に適しているのか～コンパニオン診断薬の光と影～

座長：井口 豊崇（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）

堀之内秀仁（国立がん研究センター中央病院呼吸器内科）

CP4-1 コンパニオン診断薬等が誕生した歴史・背景

塚田 晃成（医薬品医療機器総合機構）

CP4-2 コンパニオン診断薬の現在地ー有用性と限界，その先にあるもの（臨床現場の視点から）

三森 友靖（順天堂大学医学部附属静岡病院）

CP4-3 コンパニオン診断薬等の開発に関する課題 製薬会社の立場から

古賀 裕海（米国研究製薬工業協会）

CP4-4 現状，課題，展望について 診断薬業界の視点から

松下 洋久（株式会社ニチレイバイオサイエンス）

- CP4-5 現状、課題、展望について 肺癌学会の視点から
谷田部 恭（国立がん研究センター中央病院）
- CP4-6 コンパニオン診断薬における現状と課題について
伊藤 竜太（厚生労働省医薬局医療機器審査管理課）

CP5 会長特別企画 5

8:30~10:00

11月8日（第3日） 第5会場

患者に届ける緩和医療：骨転移の診断と治療

座長：高橋 健夫（埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科）

高木 辰哉（順天堂大学緩和ケア科・整形外科・リハビリテーション科）

CP5-1 骨転移の画像診断

奥田 実穂（公立松任石川中央病院放射線診断科／金沢大学放射線科）

CP5-2 骨転移に対する放射線治療

中村 直樹（聖マリアンナ医科大学放射線治療科）

CP5-3 骨転移に対するインターベンショナルラジオロジーの現状と展望

荒井 保典（国立がん研究センター東病院放射線診断科）

CP5-4 脊椎転移に対する外科治療

灰本 章一（愛知県がんセンター脳神経外科）

CP5-5 骨転移に対する緩和医療

里見絵理子（国立がん研究センター中央病院緩和医療科／順天堂大学大学院医学研究科緩和医療学）

合同企画：特定非営利活動法人日本骨転移研究会

ML 篠井・河合賞受賞記念講演

15:30~16:10

11月8日（第3日） 第1会場

座長：山本 信之（和歌山県立医科大学内科学第三講座）

高橋 和久（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

ML-1 胸腺上皮性腫瘍を含む胸部悪性腫瘍に対する、より正確な診断と効果的な治療法の確立を目指した研究

宿谷 威仁（順天堂大学呼吸器内科）

ML-2 肺癌不均一性の分子理解と治療法開発への応用

安田 浩之（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

シンポジウム

SY1 シンポジウム 1 9:00~10:30

11月6日(第1日) 第1会場

Neo-ADAURA, ADAURA vs. LAURA in Marginally resectable NSCLC with EGFR mt.

座長: 宿谷 威仁(順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

高持 一矢(順天堂大学呼吸器外科)

SY1-1 EGFR 変異陽性進行肺癌に対する外科の立場

青景 圭樹(国立がん研究センター東病院呼吸器外科)

SY1-2 切除不能 III 期 NSCLC 治療のチャレンジ

林 秀敏(近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門)

SY1-3 EGFR 遺伝子変異を伴う局所進行非小細胞肺癌の治療

山口 正史(国立病院機構九州がんセンター呼吸器腫瘍科)

SY1-4 The challenge of EGFR-TKI in the perioperative setting

赤松 弘朗(和歌山県立医科大学内科学第三講座)

SY1-5 EGFR 変異陽性肺癌に対する ADAURA の経験

豊岡 伸一(岡山大学病院呼吸器外科)

ディスカッサント: 後藤 悌(国立がん研究センター中央病院)

SY2 シンポジウム 2 10:40~12:10

11月6日(第1日) 第1会場

がん分子標的薬抵抗性機構と克服法の探索

座長: 片山 量平(公益財団法人がん研究所がん化学療法センター基礎研究部)

田島 健(順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

SY2-1 KRAS 変異肺癌における治療抵抗性

衣斐 寛倫(愛知県がんセンターがん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野/愛知県がんセンターゲノム医療センター/名古屋大学大学院医学系研究科先端がん治療学分野)

SY2-2 CRISPR-KO と CRISPR-a を駆使した融合遺伝子陽性肺癌の薬剤耐性機構探索

片山 量平(公益財団法人がん研究会がん化学療法センター基礎研究部/公益財団法人がん研究会有明病院呼吸器内科)

SY2-3 EGFR-TKI 耐性とがん免疫微小環境

大橋 圭明(岡山大学病院呼吸器内科)

SY2-4 分子標的治療によって誘導されるがん多様化因子

磯崎 英子(金沢大学がん進展制御研究所ゲノム生物学分野)

SY2-5 空間多層オミクス計測が明らかにする肺癌進展に伴う微小環境ステータスの変遷

鈴木 絢子(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

ディスカッサント: 内堀 健(がん研有明病院呼吸器内科)

SY3 シンポジウム 3 10:40~12:10

11月6日(第1日) 第3会場

EGFR 遺伝子陽性進行非小細胞肺癌の治療

座長: 加藤 晃史(東京都立駒込病院)

渡部 聡(新潟大学医歯学総合病院)

SY3-1 EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌における

EGFR-TKI 単剤療法~これまでの振り返りとこれからの治療戦略~

吉岡 弘鎮(獨協医科大学埼玉医療センター呼吸器・アレルギー内科)

SY3-2 EGFR-TKI と化学療法の併用療法

宮内 栄作(東北大学病院呼吸器内科)

SY3-3 EGFR-TKI と血管新生阻害薬併用療法の現在地と

今後の展望—L858R 陽性日本人集団とシーケンス治療の観点から—

原武 直紀(大分大学呼吸器・乳腺外科学講座)

SY3-4 EGFR-TKI 耐性後の治療

高 遼(静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)

SY3-5 EGFR-TKI と二重特異性抗体の併用療法

小野 哲(静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)

SY4 シンポジウム 4 14:05~15:35

11月6日(第1日) 第3会場

肺癌診療における緩和ケアとアドバンス・ケア・プランニング

座長: 井上 彰(東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野)

藤阪 保仁(大阪医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学)

SY4-1 肺癌診療における緩和ケア~質の高い ACP に向けて~

里見絵理子(国立がん研究センター中央病院緩和医療科/順天堂大学大学院医学研究科緩和医療学)

SY4-2 肺癌診療における精神腫瘍学

松田 能宣（国立病院機構近畿中央呼吸器センター）

SY4-3 肺がん診療における ACP の意義

菅野 康二（順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター呼吸器内科）

SY4-4 進行肺癌患者における標準治療終了後の療養に関する共同意思決定支援

藤森麻衣子（国立がん研究センター）

SY4-5 適切な ACP を推進していくための在宅支援について

木嶋あすか（国立がん研究センター中央病院看護部）

SY4-6 肺がん末期患者に対する在宅緩和ケアと ACP の実践：訪問看護師との連携による在宅看取りの一例

渡邊 淳子（医療法人社団淳友会わたクリニック）

合同企画：日本がんサポーターズケア学会

SY5 シンポジウム 5

14:05~15:35

11月6日（第1日）第6会場

徹底討論シリーズ：肺癌に対する区域切除の適応拡大

座長：西尾 渉（兵庫県立がんセンター呼吸器外科）

見前 隆洋（広島大学原爆放射線医科学研究所腫瘍外科）

SY5-1 区域切除適応拡大を検証する最新臨床試験の紹介
津谷 康大（近畿大学医学部外科学教室呼吸器外科部門）

SY5-2 早期肺癌に対する区域切除の適応拡大に向けた現状と将来展望

服部 有俊（順天堂大学呼吸器外科）

SY5-3 肺野中枢小型肺癌に対する区域切除の適応拡大
坪川 典史（広島大学腫瘍外科）

SY5-4 小型肺癌に対する individualized segmentectomy
鈴木 潤（山形大学医学部外科学第二講座）

SY5-5 実臨床データから肺区域切除の恩恵と限界を考察する

中尾 将之（がん研究会有明病院呼吸器外科）

ディスカッション：塩野 知志（山形大学医学部第二外科（呼吸器外科））

SY6 シンポジウム 6

13:35~15:05

11月7日（第2日）第1会場

徹底討論シリーズ：局所進行肺癌に関して切除可能肺癌の定義は可能か？

座長：大西 洋（山梨大学放射線治療学講座）

青景 圭樹（国立がん研究センター東病院呼吸器外科）

SY6-1 局所進行肺癌に関して切除可能肺癌の定義は概念的には可能である

田中 文啓（産業医科大学第2外科）

SY6-2 内科医の立場から、切除可能肺癌の定義を考える
釧持 広知（静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科）

SY6-3 cN2 肺癌に対する個別化導入療法後切除の臨床試験の予後から考える切除可能の定義

高持 一矢（順天堂大学呼吸器外科）

SY6-4 局所進行肺癌の切除可能性について：放射線治療医の立場から

澁谷 景子（大阪公立大学大学院医学研究科放射線腫瘍学）

SY6-5 局所進行肺癌における「切除可能」の再考—外科的挑戦と腫瘍学的限界

豊岡 伸一（岡山大学病院呼吸器外科）

ディスカッション：吉野 一郎（国際医療福祉大学成田病院）

SY7 シンポジウム 7

15:15~16:45

11月7日（第2日）第1会場

切除可能非小細胞肺癌における周術期治療の最前線—免疫チェックポイント阻害薬の最適化と未来展望

座長：鈴木 健司（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器外科学）

高橋 和久（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

SY7-1 Perioperative Therapy and Resectability in Locally Advanced Lung Cancer

青景 圭樹（国立がん研究センター東病院呼吸器外科）

SY7-2 Optimal Timing of Perioperative Immunotherapy in Resectable NSCLC: Neoadjuvant, Adjuvant, or Both?

津谷 康大（近畿大学医学部外科学教室呼吸器外科部門）

SY7-3 Perioperative Treatment of Resectable NSCLC: Key Considerations for Medical Oncologists

三浦 理（みうらクリニック／新潟県立がんセンター新潟病院）

SY7-4 Timing of Perioperative Treatment Overseas

Heather Wakelee（Stanford University/Stanford Cancer Institute）

SY8 シンポジウム 8 8:30~10:00

11月7日(第2日) 第2会場

チーム医療で挑む脳転移治療: QOL 向上を目指して

座長: 篠山 隆司 (神戸大学大学院医学研究科外科系講座脳神経外科学分野)

大西かよ子 (国際医療福祉大学医学部放射線医学)

SY8-1 脳転移に対する高精度放射線治療の進歩: 肺がん新時代の治療戦略

平田 岳郎 (大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学)

SY8-2 治療戦略に繋がる脳転移の画像診断 Up To Date

原田太以佑 (北海道大学大学院医学研究院放射線科学分野画像診断学教室)

SY8-3 肺癌脳転移に対する薬物療法と放射線治療への期待

堀之内秀仁 (国立がん研究センター中央病院呼吸器内科)

SY8-4 肺がん脳転移に対する初回・救済手術の戦略と意義

有田 英之 (大阪国際がんセンター脳神経外科)

SY9 シンポジウム 9 10:10~11:40

11月7日(第2日) 第2会場

肺癌診療の未来を拓く病理学の新展開

座長: 谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院病理診断科)

南 優子 (国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター病理診断科)

SY9-1 肺癌におけるコンパニオン診断の最前線

林 大久生 (順天堂大学人体病理病態学講座)

SY9-2 NEC 分子サブタイプ分類の最新の話について

松原 大祐 (筑波大学医学医療系診断病理学)

SY9-3 術前・術後補助療法における病理学的評価の重要性

櫛谷 桂 (広島大学大学院医系科学研究科病理学)

SY9-4 肺癌病理診断と AI

吉澤 明彦 (奈良県立医科大学)

SY9-5 治療に直結する肺癌病理研究——節外浸潤(ENE)の再評価に向けて

石井源一郎 (国立がん研究センター東病院病理臨床検査科)

SY10 シンポジウム 10 8:30~10:00

11月7日(第2日) 第3会場

小細胞肺癌に対する治療戦略

座長: 西尾 誠人 (がん研有明病院呼吸器センター)
辻野佳世子 (兵庫県立がんセンター放射線治療科)

SY10-1 Recent evidence on brain radiotherapy in limited-stage small-cell lung cancer

中村 匡希 (国立がん研究センター東病院放射線治療科)

SY10-2 Current Status and Future Perspectives of Bispecific Antibodies in Small-Cell Lung Cancer

虎澤 匡洋 (順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

SY10-3 Thoracic radiotherapy for small-cell lung cancer

高橋 重雄 (香川大学医学部附属病院放射線治療科)

SY10-4 Therapeutic Development for Small Cell Lung Cancer

Jacob Sands (Dana-Farber Cancer Institute)

SY11 シンポジウム 11 15:10~16:40

11月7日(第2日) 第3会場

肺癌における ADC の治療開発の現状

座長: 林 秀敏 (近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門)

後藤 功一 (国立がん研究センター東病院呼吸器内科)

SY11-1 What's going on with ADC in Small Cell Lung Cancer?

赤松 弘朗 (和歌山県立医科大学内科学第三講座)

SY11-2 Current Status of Antibody-Drug Conjugate Development in Driver Gene Mutation-Negative Non-Small Cell Lung Cancer

田中謙太郎 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学)

SY11-3 Emerging T-cell Redirecting Immunotherapies for Lung Cancer: Focus on BiTEs and CAR-T Cell Therapy

吉田 達哉 (National Cancer Center Hospital)

SY11-4 NSCLC Oncogenic Driver Positive

Pasi A. Jänne (Lowe Center for Thoracic Oncology, Dana Farber Cancer Institute, Boston, MA)

SY12 シンポジウム 12

8:30~10:00

11月8日(第3日) 第1会場

非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬の最前線と未来像

座長: 岡本 勇 (九州大学大学院医学研究院呼吸器内科分野)

高橋 利明 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)

SY12-1 持続型 T 細胞免疫メカニズムが示す免疫チェックポイント阻害薬の未来

各務 博 (埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科)

SY12-2 合併症・PS 不良例における免疫チェックポイント阻害薬の実践と展望

宮永 晃彦 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

SY12-3 切除不能局所進行非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬

三浦 啓太 (順天堂大学医学部附属静岡病院呼吸器内科)

SY12-4 iPS 由来の抗原特異的 T 細胞を用いた治療抵抗性因子の探索

片山 量平 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター基礎研究部)

SY12-5 免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に関わる環境因子

小山 正平 (国立がん研究センター)

SY13 シンポジウム 13

8:30~10:00

11月8日(第3日) 第2会場

切除不能 III 期非小細胞肺癌に対する治療開発

座長: 松尾 幸憲 (近畿大学医学部放射線腫瘍学部門)

清家 正博 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

SY13-1 高齢 III 期 NSCLC にプラチナダブルットを用いた化学放射線療法は可能か?

大森 翔太 (大分大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科)

SY13-2 切除不能 III 期 NSCLC において放射線治療は必要か

秦 明登 (神戸低侵襲がん医療センター呼吸器腫瘍内科)

SY13-3 III 期 NSCLC において放射線治療は必要である

岸 徳子 (京都大学医学部附属病院放射線治療科)

SY13-4 III 期非小細胞肺癌における粒子線治療の意義

塩山 善之 (九州国際重粒子線がん治療センター)

SY13-5 III 期非小細胞肺癌における放射線治療の最適化: 照射技術の進歩と線量分割法

大西かよ子 (国際医療福祉大学医学部放射線医学)

SY13-6 III 期 NSCLC における治療開発~内科の立場から~

善家 義貴 (国立がん研究センター東病院)

SY14 シンポジウム 14

10:10~11:40

11月8日(第3日) 第2会場

根治的サルベージ手術の適応と成績

座長: 坂尾 幸則 (帝京大学外科学講座呼吸器外科)

松本 勲 (金沢大学呼吸器外科)

SY14-1 局所進行・転移性非小細胞肺癌に対する外科切除の可能性

山口 正史 (国立病院機構九州がんセンター呼吸器腫瘍科)

SY14-2 局所進行肺癌に対する根治的放射線化学療法後のサルベージ手術の、合併症と長期予後

伊藤 宏之 (神奈川県立がんセンター呼吸器外科)

SY14-3 当施設における薬物療法後のサルベージ手術の治療成績と適応

鈴木 繁紀 (慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器))

SY14-4 当科における肺癌サルベージ手術の周術期成績と予後

新谷 康 (大阪大学呼吸器外科)

SY14-5 根治的 Salvage 手術後の転帰から考える手術適応

福井麻里子 (順天堂大学医学部呼吸器外科)

ディスカッション: 清水 公裕 (信州大学呼吸器外科)

ワークショップ

WS1 ワークショップ 1

14:05~15:35

11月6日(第1日) 第4会場

Liquid Biopsy がもたらす個別化医療の進化

座長：松本 慎吾（国立がん研究センター東病院呼吸器内科）

細見 幸生（がん・感染症センター都立駒込病院）

WS1-1 肺癌における MRD 解析：第二世代アッセイについて

唐崎 隆弘（東京大学呼吸器外科）

WS1-2 MRD ガイドラインが示す臨床開発の現状と展望

小林 信（国立がん研究センター東病院肝胆膵外科）

WS1-3 放射線治療におけるリキッドバイオプシーの有用性

影山俊一郎（国立がん研究センター先端医療開発センター）

WS1-4 ctDNA メチル化解析に基づく新規治療効果予測バイオマーカーの検討：LC-SCRUM-MRD

北川 真吾（日本医科大学付属病院）

WS1-5 リキッドバイオプシーにおける血中分子の新たな可能性

坂井 和子（近畿大学医学部ゲノム生物学教室）

WS1-6 髄液検体を用いた肺癌コンパクトパネルの検討

國政 啓（大阪国際がんセンター呼吸器内科）

WS2 ワークショップ 2

15:40~17:10

11月6日(第1日) 第5会場

中皮腫診療の最前線：診断から治療、そして基礎研究の新展開

座長：関戸 好孝（愛知県がんセンター研究所分子腫瘍学分野）

木島 貴志（兵庫医科大学医学部呼吸器・血液内科学）

WS2-1 中皮腫の病理診断アップデート

武田麻衣子（奈良県立医科大学病理診断学講座）

WS2-2 胸膜中皮腫に対する薬物療法の最新の動向と今後の展開

藤本 伸一（岡山労災病院腫瘍内科）

WS2-3 胸膜中皮腫に対する外科治療の最前線～現在と未来予想図～

橋本 昌樹（兵庫医科大学呼吸器外科／兵庫医科大学胸部腫瘍科）

WS2-4 胸膜中皮腫における分化多様性の解明

田島 健（順天堂大学呼吸器内科）

WS2-5 ニボルマブ投与胸膜中皮腫患者における免疫関連分子及び遺伝子変異発現による臨床病理解析（HOT1901）

辻 康介（北海道大学大学院医学研究院呼吸器内科学教室）

WS2-6 中皮腫における早期死亡予測スコアによるリスク層別化と外科治療の有効性の検討―第9次事業の解析より―

新谷 康（肺癌登録合同委員会）

WS3 ワークショップ 3

9:00~10:30

11月6日(第1日) 第6会場

気管支鏡による検体採取と治療の最前線

座長：坂 英雄（松波総合病院）

南 優子（国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター病理診断科）

WS3-1 肺癌診療における組織検体採取のポイント

松元 祐司（国立がん研究センター中央病院内視鏡科（呼吸器）／国立がん研究センター中央病院呼吸器内科）

WS3-2 マルチ遺伝子検査に最適な検体とは

畑中 豊（北海道大学病院先端診断技術開発センター）

WS3-3 悪性気道狭窄に対する治療開発

坂 英雄（松波総合病院呼吸器センター呼吸器内科／国立病院機構名古屋医療センター／藤田医科大学）

WS3-4 末梢型肺癌に対する経気管支鏡治療法と評価方法について

白田 実男（日本医科大学呼吸器外科）

WS3-5 気管支洗浄液を用いた高感度肺がんマルチ遺伝子NGS パネルの有用性の多機関検証試験(cPANEL2)

森川 慶（聖マリアンナ医科大学呼吸器内科）

WS3-6 通常径鉗子を用いた超音波気管支鏡ガイド下結節内鉗子生検は肺癌パネル検査に有用か：多施設後ろ向き研究

内村 圭吾（春日部市立医療センター呼吸器内科／同愛記念病院呼吸器・腫瘍センター）

WS4 ワークショップ 4 15:40~17:10
11月6日(第1日) 第6会場

胸腺上皮系腫瘍の診断と治療: state of the art

座長: 奥村明之進 (国立病院機構大阪刀根山医療センター)

岸 一馬 (東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科)

- WS4-1 胸腺上皮性腫瘍の病理診断: 組織分類, 分子病理, TNM 分類**
元井 紀子 (埼玉県立がんセンター病理診断科)
- WS4-2 胸腺上皮性腫瘍における画像診断**
室田真希子 (香川大学医学部放射線医学講座)
- WS4-3 胸腺腫・癌に対する 3-port VATS での周囲臓器合併切除を含めた根治手術の適応と成績**
藤森 賢 (虎の門病院呼吸器センター外科)
- WS4-4 胸腺上皮性腫瘍に対する薬物療法**
宿谷 威仁 (順天堂大学医学部呼吸器内科)
- WS4-5 実臨床での進行再発胸腺癌患者に対するレンパチニブの有効性および安全性の検討: 長期フォローアップ**
高木 賢人 (千葉大学医学部附属病院呼吸器内科)
- WS4-6 hinotori を用いた胸腺上皮性腫瘍に対するロボット支援手術の導入初期成績**
法華 大助 (神戸大学医学部附属病院呼吸器外科/神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター呼吸器外科)

WS5 ワークショップ 5 9:00~10:30
11月6日(第1日) 第7会場

先端バイオリソースを用いた肺癌への治療開発

座長: 安田 浩之 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科)
白石 航也 (国立がん研究センター研究所ゲノム生物学研究分野)

- WS5-1 がん細胞株を用いた肺がんの治療開発**
小林 祥久 (国立がん研究センター研究所分子病理分野)
- WS5-2 患者由来肺癌オルガノイドを用いた肺癌不均一性理解と治療薬開発**
安田 浩之 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科)
- WS5-3 肺腺がんにおける体細胞変異ランドスケープと生殖細胞系列バリエーションとの統合解析**
白石 航也 (国立がん研究センター研究所ゲノム生物学研究分野/国立がん研究センター研究所臨床ゲノム解析部門)
- WS5-4 PDX モデルを用いた治療開発**
柳下 薫寛 (国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野)

- WS5-5 肺癌切除検体からのオルガノイド・線維芽細胞共培養による細胞治療モデルの開発**
木村 賢二 (大阪大学呼吸器外科)

WS6 ワークショップ 6 10:40~12:10
11月6日(第1日) 第7会場

肺癌診療における AI 技術の活用

座長: 坂井 修二 (東京女子医科大学画像診断学・核医学)

- 大野 良治 (藤田医科大学医学部放射線診断学)
- WS6-1 AI の仕組み (初学者向け)**
中尾 貴祐 (東京大学医学部附属病院コンピュータ画像診断学/予防医学講座)
- WS6-2 胸部画像診断における AI 技術の最先端**
梁川 雅弘 (大阪大学大学院医学系研究科放射線統合医学講座放射線医学)
- WS6-3 大学病院における肺結節 AI 診断支援の全面導入事例**
市川 泰崇 (三重大学医学部附属病院放射線科)
- WS6-4 宮城県肺癌検診における「AI サポート型診断システム」導入の初期成績**
野津田泰嗣 (東北大学病院呼吸器外科/宮城県結核予防会複十字健診センター)
- WS6-5 有害事象対応提案 AI の開発: 日本肺癌学会 AI 開発小委員会による産学連携プロジェクト**
藤本 大智 (兵庫医科大学病院呼吸器内科)

WS7 ワークショップ 7 10:10~11:40
11月7日(第2日) 第3会場

肺腫瘍に対する手術 vs 定位放射線照射 vs アブレーション治療 (RFA, 凍結)

座長: 白田 実男 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器外科学分野)
石川 仁 (量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

- WS7-1 胸部悪性腫瘍に対する経皮的凍結融解壊死療法**
朝倉 啓介 (慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器))
- WS7-2 新時代における肺腫瘍手術の意義—低侵襲化とマルチモダリティ治療の視点から**
清水 公裕 (信州大学医学部外科学教室呼吸器外科分野)
- WS7-3 肺癌の体幹部定位照射**
原田 英幸 (静岡がんセンター放射線・陽子線治療センター)
- WS7-4 I 期肺癌重粒子線治療における手術適応の有無と予後との関連: 多施設前向きレジストリ研究**
久保 亘輝 (群馬大学重粒子線医学研究センター)

- WS7-5 末梢小型肺癌に対する光線力学的治療 (PDT) の
適応拡大
白田 実男 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸
器外科学分野)

WS8 ワークショップ 8 13:35~15:05

11月7日(第2日) 第3会場

EGFR 以外のドライバー遺伝子変異陽性 NSCLC における治
療開発

座長: 矢野 聖二 (金沢大学医薬保健研究域医学系呼吸
器内科学)

里内美弥子 (兵庫県立がんセンター)

- WS8-1 ALK 遺伝子転座陽性例に対する治療の変遷と今後
の展望

和久田一茂 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内
科)

- WS8-2 非小細胞肺癌における HER2 標的治療開発の最
前線

谷崎 潤子 (近畿大学医学部内科学教室腫瘍内科
部門)

- WS8-3 MET exon 14 スキッピング変異陽性非小細胞肺
がんの治療戦略

武田 真幸 (奈良県立医科大学がんゲノム・腫瘍
内科)

- WS8-4 NRG1 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌の臨床病理学
的特徴と治療成績

伊東 謙 (国立がん研究センター東病院)

- WS8-5 MTAP 欠損非小細胞肺癌の臨床病理学の特徴と治
療成績

宇田川 響 (国立がん研究センター東病院)

WS9 ワークショップ 9 8:30~10:00

11月7日(第2日) 第4会場

オリゴ転移を有する非小細胞肺癌の治療戦略

座長: 石倉 聡 (聖路加国際病院放射線腫瘍科)

山本 信之 (和歌山県立医科大学医学部内科学第
三講座)

- WS9-1 肺癌におけるオリゴ転移の歴史・定義

二宮貴一朗 (岡山大学病院ゲノム医療総合推進セ
ンター)

- WS9-2 非小細胞肺癌におけるオリゴ転移とオリゴ増悪に
対する治療開発~内科の立場から~

宮脇 太一 (順天堂大学医学部附属順天堂医院呼
吸器内科)

- WS9-3 肺がんオリゴメタスタシスは本当に外科切除が有
効か?

嶋田 善久 (東京医科大学呼吸器甲状腺外科/サ
ンライズジャパン病院ブノンペン)

- WS9-4 ドライバー遺伝子変異陽性例におけるオリゴ転移
高 遼 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内
科)

- WS9-5 拡散強調 MRI 由来エントロピーによる多発転移
早期予測

小杉 康夫 (順天堂大学大学院医学研究科放射線
治療学講座)

- WS9-6 進行非小細胞肺癌に対する根治的局所治療と長期
成績: Oligometastasis への治療選択とその意義

佐藤 宇気 (東京医科大学呼吸器・甲状腺外科学
分野)

WS10 ワークショップ 10 8:30~10:00

11月8日(第3日) 第4会場

徹底討論シリーズ: 区域切除における技術論—なにが重要か

座長: 嶋田 善久 (東京医科大学呼吸器甲状腺外科)

佐治 久 (聖マリアンナ医科大学呼吸器外科)

- WS10-1 区域切除の成否を分ける技術論—適応から区域間
形成まで

津谷 康大 (近畿大学医学部外科学教室呼吸器外
科部門)

- WS10-2 同側肺再手術を意識した肺靱帯アプローチによる
RATS posterior basal segmentectomy

田根 慎也 (神戸大学医学部附属病院呼吸器外
科)

- WS10-3 再発例から学ぶ局所制御に優れる区域切除戦略
上垣内 篤 (広島大学腫瘍外科)

- WS10-4 肺実質の温存を極限まで追求した精密肺区域切除
濱中 一敏 (信州大学呼吸器外科)

- WS10-5 下葉区域切除術における肺切離の技術的要点~
reduced port RATS/VATS での工夫~

永田 俊行 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
外科学講座呼吸器外科学分野)

WS11 ワークショップ 11 13:00~14:30

11月8日(第3日) 第4会場

近代腫瘍学における転移性肺腫瘍の手術適応

座長: 坂尾 幸則 (帝京大学外科学講座呼吸器外科)

坪地 宏嘉 (自治医科大学)

- WS11-1 転移性肺腫瘍—Moving target—

塩野 知志 (山形大学医学部第二外科)

- WS11-2 大規模データベースを用いた手術適応個別化検討

山内 良兼 (帝京大学医学部外科)

- WS11-3 転移性肺腫瘍の手術適応を原発臓器別に再考する
一瀬 淳二 (がん研有明病院呼吸器センター外
科)

- WS11-4 胃癌の肺転移に対する肺切除選択の検討

上村 豪 (鹿児島大学医学部呼吸器外科)

WS11-5 大腸癌両側転移性肺腫瘍に対する 3port-VATS 一
期的両側肺切除術の治療成績と適応に関する検討
大坪 巧育（虎の門病院）

ビデオセッション

V1 ビデオセッション 1

15:40~17:10

11月6日(第1日) 第4会場

導入療法後の手術またはサルベージ手術

座長: 伊藤 宏之(神奈川県立がんセンター呼吸器外科)

浦本 秀隆(金沢医科大学呼吸器外科学)

V1-1 進行性非小細胞肺癌に対するサルベージ手術と導入療法後の手術の長期成績: 傾向スコアマッチング分析

浦本 秀隆(金沢医科大学呼吸器外科)

V1-2 当院での術前導入化学免疫療法後の手術経験

中村 彰太(名古屋大学呼吸器外科)

V1-3 治療前の画像所見に着目した術前治療またはサルベージ手術の要点

枝園 和彦(岡山大学病院呼吸器外科)

V1-4 導入免疫療法を受けた局所進行肺癌に対する外科治療: 術式多様性と合併症への対応

三崎 伯幸(香川大学医学部呼吸器・乳腺内分泌外科学)

V1-5 免疫化学療法後の3-port RATS 気管支形成, 血管形成一超拡大視野が開く突破口, RATS 拡大切除の工夫一

千葉 真人(近畿大学医学部附属病院呼吸器外科)

V2 ビデオセッション 2

8:30~10:00

11月7日(第2日) 第6会場

開胸七変化

座長: 佐藤 幸夫(筑波大学呼吸器外科)

渡辺 俊一(国立がん研究センター中央病院呼吸器外科)

V2-1 後側方開胸を見直す~左心房浸潤を伴う局所進行肺癌に対してNAC後に行った右下葉切除・左心房合併切除~

最相 晋輔(川崎医科大学呼吸器外科学)

V2-2 肺尖部胸壁浸潤癌 前方アプローチにおける工夫

田根 慎也(神戸大学医学部附属病院呼吸器外科)

V2-3 Transmanubrial approach (TMA) のコツと注意点

足立 広幸(横浜市立大学外科治療学(呼吸器部門))

V2-4 進行胸部腫瘍に対する最適な術野確保のための開胸アプローチの工夫

新谷 康(大阪大学呼吸器外科)

V2-5 呼吸器外科の未来に向けて一小開胸アプローチ(MIOS)一

塩野 知志(山形大学医学部第2外科)

V3 ビデオセッション 3

16:50~18:20

11月7日(第2日) 第9会場

手術の工夫 1

座長: 新谷 康(大阪大学呼吸器外科)

大出 泰久(静岡県立静岡がんセンター呼吸器外科)

V3-1 浸潤性胸腺腫に対してロボット支援下手術から胸骨正中切開アプローチへ移行しSVC合併切除した一例

鈴木 健人(日本医科大学付属病院呼吸器外科)

V3-2 Clamshell/Hemi-Clamshell アプローチを選択した巨大腫瘍・緊急手術症例の検討

小林 正嗣(倉敷中央病院呼吸器外科)

V3-3 Transmanubrial osteomuscular approach (TMA) のコツ

河内 利賢(日本大学医学部外科学系呼吸器外科学分野)

V3-4 前方および後方アプローチで切除した右肺尖部胸壁浸潤癌の一例

米谷 卓郎(広島赤十字・原爆病院外科)

V3-5 左肺門部腫瘍に対して自家肺移植により左下葉を温存した1例

住友 亮太(京都大学呼吸器外科)

V4 ビデオセッション 4

14:35~16:05

11月8日(第3日) 第4会場

手術の工夫 2

座長: 井上 匡美(京都府立医科大学呼吸器外科学)

鈴木 弘行(福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座)

V4-1 免疫チェックポイント阻害薬による導入療法後の気管支・血管形成術

三好 智裕(国立がん研究センター東病院)

V4-2 肺尖部胸壁浸潤肺癌(SST)に対する導入化学放射線療法後の手術

原田 匡彦(日本医科大学多摩永山病院呼吸器外科)

V4-3 NIVO 併用術前化学療法後, 左上葉切除, 胸骨丙・両鎖骨・第1-2肋骨合併切除を施行した扁平上皮癌の1例

井貝 仁(前橋赤十字病院呼吸器外科)

- V4-4 術前免疫化学療法症例へのロボット支援下手術の
実際
藤原和歌子（鳥取大学医学部付属病院呼吸器外
科）
- V4-5 経横隔膜腹腔内臓器浸潤を伴う胸部悪性腫瘍に対
する開胸法—いわゆる Stoney 切開—
早稲田龍一（福岡大学筑紫病院呼吸器・乳腺外
科）

教育講演プログラム 別冊参照（当日配布予定）

EL1 教育講演 1 9:00~9:30
11月6日（第1日） 第2会場
中皮腫の病理診断（免疫染色の解釈を中心に）
座長：林 大久生（順天堂大学医学部人体病理病態学講座）
演者：廣島 健三（東京女子医科大学八千代医療センター病理診断科／袖ヶ浦さつき台病院診療部）

EL2 教育講演 2 9:30~10:00
11月6日（第1日） 第2会場
縮小手術の考え方と臨床応用, pit fall
座長：加藤 達哉（北海道大学大学院医学院外科学講座呼吸器外科学教室）
演者：清水 公裕（信州大学医学部外科学教室呼吸器外科学分野教授）

EL3 教育講演 3 10:00~10:30
11月6日（第1日） 第2会場
免疫療法・分子標的治療時代における局所進行肺癌に対する外科治療の役割と Resectability
座長：坂尾 幸則（帝京大学外科学講座呼吸器外科）
演者：工藤 勇人（東京医科大学呼吸器・甲状腺外科学分野）

EL4 教育講演 4 10:40~11:10
11月6日（第1日） 第2会場
肺癌診療ガイドライン改訂のポイントー薬物療法の領域を中心にー
座長：倉田 宝保（関西医科大学呼吸器腫瘍内科学講座）
演者：大森 翔太（大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座）

EL5 教育講演 5 11:10~11:40
11月6日（第1日） 第2会場
最新の分子標的治療 2025 update
座長：仁保 誠治（獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科）
演者：國政 啓（大阪国際がんセンター呼吸器内科）

EL6 教育講演 6 11:40~12:10
11月6日（第1日） 第2会場
肺癌診療における気管支鏡検査 up-to-date
座長：芳川 豊史（名古屋大学呼吸器外科）
演者：中島 崇裕（獨協医科大学呼吸器外科学）

EL7 教育講演 7 13:35~14:05
11月7日（第2日） 第2会場
遺伝子変異に基づく肺癌画像診断：個別治療への画像学的アプローチ
座長：竹中 大祐（藤田医科大学医学部放射線診断学）
演者：梁川 雅弘（大阪大学大学院医学系研究科放射線統合医学講座放射線医学）

EL8 教育講演 8 14:05~14:35
11月7日（第2日） 第2会場
新規抗体医薬品の副作用対策
座長：磯部 威（島根大学医学部呼吸器・臨床腫瘍学）
演者：宮内 栄作（東北大学病院呼吸器内科）

EL9 教育講演 9 14:35~15:05
11月7日（第2日） 第2会場
肺腺癌のグレード分類
座長：湊 宏（石川県立中央病院病理診断科）
演者：吉澤 明彦（奈良県立医科大学病理診断学講座）

EL10 教育講演 10 15:15~15:45
11月7日（第2日） 第2会場
外科医と研究を両立させるには
座長：佐藤 寿彦（福岡大学呼吸器乳腺小児外科）
演者：野津田泰嗣（東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学分野）

EL11 教育講演 11 15:45~16:15
11月7日（第2日） 第2会場
肺癌診療/研究における RWD, AI の利活用
座長：西岡 安彦（徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野）
演者：藤本 大智（兵庫医科大学病院呼吸器内科）

EL12 教育講演 12 16:15~16:45
11月7日（第2日） 第2会場
非小細胞肺癌の放射線治療計画
座長：齋藤 淳一（富山大学放射線診断・治療学放射線腫瘍学部門）
演者：大熊 加恵（国立がん研究センター中央病院放射線治療科）

EL13 教育講演 13

16:55~17:25

11月7日(第2日) 第2会場

肺がん検診の基本的事項と今後の展望

座長：滝口 裕一（翠明会山王病院腫瘍内科・呼吸器内科）

演者：小林 健（石川県立中央病院放射線診断科）

EL14 教育講演 14

17:25~17:55

11月7日(第2日) 第2会場

気管支内視鏡における細胞診

座長：毛受 暁史（京都大学大学院医学研究科呼吸器外科）

演者：澁谷 潔（千葉大学医学部附属病院成田赤十字病院肺がん治療センター／成田赤十字病院呼吸器外科）

EL15 教育講演 15

13:00~13:30

11月8日(第3日) 第2会場

進行性線維化を伴う間質性肺疾患

座長：鈴木 一廣（順天堂大学医学部放射線診断学講座）

演者：岩澤 多恵（神奈川県立循環器呼吸器病センター放射線科）

EL16 教育講演 16

13:30~14:00

11月8日(第3日) 第2会場

中枢型早期肺癌に対する陽子線治療

座長：白井 克幸（自治医科大学附属病院放射線治療科）

演者：中村 雅俊（筑波大学附属病院放射線腫瘍科・陽子線治療センター／筑波大学医学医療系放射線腫瘍学・陽子線医学利用研究センター）

EL17 教育講演 17

14:00~14:30

11月8日(第3日) 第2会場

最新の免疫療法

座長：小栗 鉄也（名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療教育研究センター）

演者：田中謙太郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学）

EL18 教育講演 18

14:30~15:00

11月8日(第3日) 第2会場

最新の小細胞肺癌治療

座長：鹿毛 秀宣（東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学）

演者：善家 義貴（国立がん研究センター東病院）

委員会企画

就労 教育研修委員会企画・就労両立支援セッション 8:30~10:00

11月7日(第2日) 第5会場

徹底討論, 仕事と治療の両立支援の『理想』と『現実』~誰一人取り残さないがん対策を, 綺麗事で終わらせないために~

座長: 清家 正博 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

小澤 雄一 (浜松医療センター腫瘍内科/呼吸器内科)

就労-1 これからの治療と仕事の両立支援について

佐々木孝治 (厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課)

就労-2 臨床現場から伝えたい, 両立支援の現状と課題
主治医・学会委員会の目線から

池田 慧 (関西医科大学呼吸器腫瘍内科学講座)

就労-3 臨床現場から伝えたい, 両立支援の現状と課題
相談支援センター・ソーシャルワーカーの目線から

池山 晴人 (大阪国際がんセンターがん相談支援センター)

就労-4 肺がん患者の両立支援を繋ぐ企業・産業保健職の
考え方ー意見書作成における要点ー

立石清一郎 (産業医科大学産業生態科学研究所)

SDM 教育研修委員会企画・SDM セッション 16:55~18:25

11月7日(第2日) 第7会場

できる・役立つ『Shared Decision Making』~臨床現場で実践
できる, 有意義なコミュニケーションスキルを学ぼう~

座長: 清家 正博 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

伊藤 宏之 (神奈川県立がんセンター呼吸器外科)

SDM-1 SDMに関する学会員向けアンケート調査の結果
と, 肺癌学会の取り組み

武内 進 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

SDM-2 SDM (shared decision-making) とは何か: EBM
の原点からその先へ

中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

ケースディスカッション

ディスカッション: 池田 慧 (関西医科大学呼吸器腫瘍内科学講座)

武内 進 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

深田 陽子 (日本医科大学付属病院)

稲野 寛 (北里大学病院薬剤部)

DB データベース委員会企画

14:05~15:35

11月6日(第1日) 第7会場

座長: 釵持 広知 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)

大泉 聡史 (国立病院機構北海道がんセンター)

DB-1 ニボルマブ/アテゾリズマブの実臨床データベース構築: PMS・前向きレジストリの統合利活用の取り組み

伊藤健太郎 (松阪市民病院呼吸器センター呼吸器内科/横浜市立大学医学部臨床統計学教室)

DB-2 術後補助化学療法データベース構築と展望

勝又 信哉 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器外科/日本肺癌学会データベース・管理・作成小委員会)

DB-3 日本肺癌学会オンコマインデータベース事業~これまでの取り組みと利活用への試み~

宿谷 威仁 (順天堂大学呼吸器内科)

DB-4 小細胞肺癌レジストリ研究

和久田一茂 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)

DB-5 日本肺癌学会臨床試験統合データベース (JIDB)
の現状と展望~新しいデータ活用モデルの探求と課題~

小澤 雄一 (浜松医療センター腫瘍内科/呼吸器内科)

登録 データベース・肺癌登録合同委員会企画 14:35~15:05

11月8日(第3日) 第3会場

肺癌登録合同委員会報告

座長: 山本 信之 (和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座)

肺癌登録事業報告 2025 年

演者: 四倉 正也 (全国肺癌登録合同委員会/国立がん研究センター中央病院呼吸器外科)

MSS1 会員委員会企画 メディカルスタッフシンポジウム1 8:30~10:00

11月7日(第2日) 第7会場

ゲノム

座長: 武田 真幸 (奈良県立医科大学がんゲノム・腫瘍内科)

里内美弥子 (兵庫県立がんセンター呼吸器内科)

MSS1-1 多職種で考える肺がんにおける CGP 検査の位置づけと展望

福泉 彩 (日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野)

- MSS1-2 DCT プラットフォーム MiROHA を用いた肺癌治療のアクセス向上への挑戦
古屋 直樹（聖マリアンナ医科大学呼吸器内科）
- MSS1-3 私が受けたがんゲノム検査と治療
青島 央和（肺がん患者の会ワンステップ）
- MSS1-4 がんゲノム医療への関わり～臨床検査技師の視点から～
南 智也（兵庫県立がんセンター）

MSS2 会員委員会企画 メディカルスタッフシンポジウム2 10:10～11:40
11月7日（第2日） 第7会場

バーチャルキャンサーボード

- 座長：園部 誠（大阪赤十字病院呼吸器外科）
今野 伸樹（広島大学病院放射線治療科）
- パネリスト：丹澤 盛（帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科）
村川 知弘（関西医科大学附属病院呼吸器外科）
高橋 重雄（香川大学医学部附属病院放射線治療科）
長崎 礼子（がん研究会有明病院看護部）
東 加奈子（東京医科大学病院薬剤部）

MSS3 会員委員会企画 メディカルスタッフシンポジウム3 8:30～9:30
11月8日（第3日） 第7会場

ACP

- 座長：西野 和美（大阪国際がんセンター呼吸器内科）
北川智余恵（国立病院機構名古屋医療センター腫瘍内科呼吸器内科）

MSS3 当たり前の医療としてのACP

- 井上 彰（東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野）
- ディスカッサント：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野）
柳田 秀樹（静岡県立静岡がんセンター）
森 文子（国立がん研究センター中央病院看護部）

SRS 医学生・研修医のための肺癌診療セミナー 14:10～16:10
11月8日（第3日） 第7会場

- 座長：藤阪 保仁（大阪医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学）

- SRS** 肺がんを診る医師になる～新たなキャリアパスを創る～
三浦 理（みうらクリニック／新潟県立がんセンター新潟病院）

- Moderator：福泉 彩（日本医科大学大学院医学研究科呼吸器・腫瘍内科学分野）
岡野 哲也（日本医科大学千葉北総病院呼吸器内科）
田中 雄悟（鳥取大学医学部附属病院呼吸器・乳腺内分泌外科）
closing：里内美弥子（兵庫県立がんセンター呼吸器内科）

NSW タバコ対策委員会企画 15:50～16:50
11月7日（第2日） 第6会場

禁煙ワークショップ

- 座長：堀尾 芳嗣（愛知県がんセンター外来部）

- NSW-1** 改正健康増進法で進んだ喫煙対策と今後に残された課題
大和 浩（産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室）
- NSW-2** 周術期における禁煙の効果と患者への導入について
青江 基（香川県立中央病院呼吸器外科）
- NSW-3** 肺癌患者に対する禁煙支援 Teachable moment を活かして
谷口 千枝（愛知医科大学看護学部）

検診1 肺がん検診委員会企画 10:10～11:40
11月7日（第2日） 第5会場

有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン 2025 版を受けてー肺癌検診はどう変わる？ー

- 座長：中山 富雄（国立がん研究センターがん対策研究所）
芦澤 和人（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床腫瘍学）

- 検診1-1** 有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン 2025 年度版について
細野 覚代（国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部）
- 検診1-2** 肺がん検診における喀痰細胞診の再評価
濱島ちさと（帝京大学医療技術学部）
- 検診1-3** 低線量 CT 肺がん検診マニュアルについて
西井 研治（岡山県健康づくり財団附属病院）
- 検診1-4** 新たな対策型肺がん検診はどうなるかー実施上の課題と将来展望
滝口 裕一（翠明会山王病院腫瘍内科・呼吸器内科）

検診 2 肺がん検診読影セミナー 2025 8:30~11:30
11月8日(第3日) 第3会場
開始の挨拶: 負門 克典(虎の門病院放射線診断科)

1) 肺がん検診について

座長: 芦澤 和人(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
臨床腫瘍学)

肺がん検診の‘これまで’と‘これから’

演者: 中山 富雄(国立がん研究センターがん対策研究
所検診研究部)

2) 肺がん画像診断 読影講座

座長: 藤本 公則(久留米大学医学部放射線医学講座)
肺がん検診における肺がん(候補病変)を見落とさないための
ポイントとピットフォール

演者: 松迫 正樹(聖路加国際病院放射線科)

3) -1 インタラクティブセッション

座長: 室田真希子(香川大学医学部放射線医学講座)

胸部 X 線画像の読影演習

演者: 中野 祥子(国立がん研究センター中央病院放射
線診断科)

3) -2 インタラクティブセッション

座長: 丸山雄一郎(浅間南麓こもろ医療センター放射線
科)

低線量 CT 肺がん検診における肺結節の評価

演者: 佐藤 嘉尚(がん研有明病院画像診断部)

終了の挨拶: 芦澤 和人(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
臨床腫瘍学)

EC1 アーリーキャリア支援委員会企画 1 10:40~12:10
11月6日(第1日) 第6会場

これが私のキャリアパス〜キャリアと医局の多様な関係〜

座長: 新納 英樹(富山県立中央病院呼吸器外科)
今泉 和良(藤田医科大学呼吸器内科)

EC1-1 The 医局キャリアパス

松永 健志(順天堂大学呼吸器外科学講座)

EC1-2 ある医師の移動と肺葉切除術のアプローチの変化
と保険診療制度について

今西 直子(独立行政法人国立病院機構姫路医療
センター)

EC1-3 市中病院から目指すアカデミックサーजन

井貝 仁(前橋赤十字病院呼吸器外科)

EC1-4 これが私のキャリアパス〜医局非所属かつ市中病
院勤務の立場から〜

秦 明登(神戸低侵襲がん医療センター呼吸器
腫瘍内科)

EC2 アーリーキャリア支援委員会企画 2 10:10~11:40
11月8日(第3日) 第7会場
君の経験を全国へ! 研修医・専攻医 Case Presentation
Award 2025

座長: 安部 美幸(大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学
講座)

鈴木 嵩弘(慶應義塾大学医学部外科学(呼吸
器))

矢野 海斗(がん・感染症センター都立駒込病
院)

野海 拓(岡山大学呼吸器・アレルギー内科)

磯 博和(がん研究会有明病院呼吸器内科)

EC2-1 Oligo-Progression を示したドライバー陽性進行
肺腺癌に手術切除を行い長期の病勢制御を得た 2
症例の検討

藤澤 智彦(長岡赤十字病院臨床研修センター)

EC2-2 動脈塞栓術および小線源療法が奏功した肺癌骨転
移による難治性疼痛の 3 症例

長井 浩二(順天堂大学医学部附属順天堂医院呼
吸器内科)

EC2-3 腺様嚢胞癌に対しニボルマブ+イピリマブを投
与し、サルコイドーシス様反応を認めた症例

瀬戸隆ノ介(北九州市立医療センター呼吸器内
科)

EC2-4 アレクチニブによる術後補助療法前に妊孕性温存
療法を行った AYA 世代の ALK 陽性肺腺癌患者の
一例

松尾 織遠(順天堂大学医学部附属順天堂医院呼
吸器内科)

EC2-5 離島在住進行肺扁平上皮癌患者における生活拠点
維持を重視した段階的治療選択の 1 例

森 俊介(がん・感染症センター都立駒込病院
呼吸器内科)

EC2-6 左下葉・舌区原発性肺がんに対し全摘回避術前抗
がん剤放射線治療後、左拡大スリーブ切除の 1 例
久留島康平(東京科学大学附属病院呼吸器外科)

EC2-7 S 状結腸癌気管転移に対して気管支動脈塞栓術後
にクライオにて腫瘍を切除し得た一例

朝賀 玲奈(帝京大学医学部内科学講座腫瘍内
科)

EC2-8 MRI で前縦隔嚢胞と診断された胸腺腫の一例

太田 滯(市立甲府病院)

EC2-9 間質性肺炎合併同時多発肺癌に対し複数の局所治
療を行った 1 例

小林 政雄(大阪国際がんセンター呼吸器外科)

EC2-10 左主気管支の完全閉塞により oncologic
emergency を来した肺原発唾液腺型淡明細胞癌
の一例

松本奨一郎(国立病院機構岡山医療センター)

EC2-11 部分肺静脈還流異常を伴う肺癌の手術例
佐藤 貴大（大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座）

ECI アーリーキャリア支援委員会・国際委員会合同セッション 15:40~17:20

11月6日（第1日）第3会場

座長：今泉 和良（藤田医科大学呼吸器内科）
西尾 誠人（がん研有明病院呼吸器内科）

ECI-1 Activities of the Early Career Committee
赤松 弘朗（和歌山県立医科大学内科学第三講座）

ECI-2 Early Career Supporting Committee and International Committee Joint Session
堀之内秀仁（国立がん研究センター中央病院呼吸器内科）

ECI-3 IASLC Initiatives for Developing Young Talent
Karen Kelly（International Association for the Study of Lung Cancer）

ECI-4 Real-World Treatment Strategy and Postoperative Prognosis for Clinical Stage II/III NSCLC : A Multicenter Study
松原 太一（九州大学病院呼吸器外科／九州大学大学院消化器・総合外科）

ECI-5 Constitutive activation of EGFR induced by downregulation of PTPRR confers resistance to KRAS inhibitors
金村 宙昌（近畿大学）

ECI-6 The biomarker research of Marble study - Atezolizumab+CBDCA+PTX in patients with thymic carcinoma
白井由紀奈（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科）

DP ダイバーシティ推進委員会企画 10:10~11:40

11月8日（第3日）第4会場

働き方改革

座長：西野 和美（大阪国際がんセンター呼吸器内科）
立原 素子（神戸大学大学院医学研究科内科学講座呼吸器内科学分野）

DP-1 呼吸器内科医における働き方改革——般病院での取り組み——
横山 俊秀（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科）

DP-2 委員アンケート 各施設の働き方改革調査

青野ひろみ（東京警察病院呼吸器科）
小暮 啓人（国立病院機構名古屋医療センター）
榊原 里江（東京科学大学病院）
仲地 一郎（済生会宇都宮病院）
原田 英幸（静岡県立がんセンター）
横内 浩（北海道がんセンター）
立原 素子（神戸大学）
西野 和美（大阪国際センター）

DP-3 日本肺癌学会会員アンケートにみる働き方改革の現状

竹中 大祐（藤田医科大学岡崎医療センター医学部放射線診断学）
磯貝佐知子（新潟県立新発田病院看護部）
原田 英幸（静岡県立静岡がんセンター放射線・陽子線治療センター）
宮脇美千代（大分県立病院呼吸器外科）
元井 紀子（埼玉県立がんセンター病理診断科）
津幡由佳里（岐阜大学大学院医学部附属病院呼吸器内科）

RC 病理委員会・細胞診判定基準改訂委員会合同セッション 15:50~17:50

11月7日（第2日）第5会場

座長：羽場 礼次（香川大学医学部附属病院病理診断科・病理部）

南 優子（国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター病理診断科）

RC-1 第9版の規約の変更点（組織編）
谷田部 恭（国立がん研究センター中央病院）

RC-2 肺癌細胞診判定基準はどう変わったか
佐藤 之俊（丸子中央病院）

RC-3 術前治療後の手術検体の取扱いと組織学的な解釈
稲村健太郎（自治医科大学腫瘍病理学）

RC-4 外科医が注意してほしいところ
遠藤 誠（山形県立中央病院呼吸器外科）

RC-5 生検検体の限界—プレアナリシス段階での最適化に向けて—

田中 良太（杏林大学医学部呼吸器・甲状腺外科学）

RC-6 がんゲノム診療における細胞検体の取扱い指針
畑中佳奈子（北海道大学病院先端診断技術開発センター）

認定 認定医制度委員会企画

10:10~11:40

11月8日（第3日）第5会場

肺癌認定医制度の意義と課題～認定医試験実施にむけて～

座長：白田 実男（日本医科大学大学院医学研究科呼吸器外科学分野）

演者：三浦 理（みうらクリニック／新潟県立がんセンター新潟病院）

GLP	GL・緩和医療小委員会企画	15:40~16:40
11月6日(第1日) 第7会場		
座長: 井上 彰 (東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野)		
GLP-1	「早期からの緩和ケア」15周年を迎えて 井上 彰 (東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野)	
GLP-2	肺がん患者における早期緩和ケア介入の意義と課題 高瀬 衣里 (和歌山県立医科大学付属病院呼吸器内科・腫瘍内科)	
GLP-3	その患者、遠慮なくご紹介下さい。～肺がん新時代における治療医と緩和医療医の最良の連携とは?～ 猪狩 智生 (東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野/北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学教室)	

TM	TNM 分類委員会企画	10:10~11:40
11月7日(第2日) 第6会場		
胸部悪性腫瘍 第9版 TNM 分類の現状と今後		
座長: 豊岡 伸一 (岡山大学学術研究院医歯薬学域呼吸器・乳腺内分泌外科学)		
宗 淳一 (大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器外科学)		
TM-1	TNM 病期分類第9版の改訂とその背景 浅村 尚生 (白鳳会東京曳舟病院)	
TM-2	TNM 分類第9版 胸腺腫瘍について 井上 匡美 (京都府立医科大学呼吸器外科学)	
TM-3	胸膜中皮腫の第9版 TNM 分類について 長谷川誠紀 (宝塚市立病院呼吸器外科)	
TM-4	肺癌の第9版 TNM 分類導入後の課題 四倉 正也 (国立がん研究センター中央病院呼吸器外科)	
TM-5	肺癌の第10版 TNM 分類に向けた世界肺癌学会の取り組み 渡辺 俊一 (国立がん研究センター中央病院呼吸器外科)	

BM	バイオマーカー委員会企画	15:40~17:10
11月6日(第1日) 第2会場		
免疫療法におけるバイオマーカーの現状と課題—本邦での免疫チェックポイント阻害薬の承認から10年を迎えて—		
座長: 谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院病理診断科)		
豊岡 伸一 (岡山大学学術研究院医歯薬学域呼吸器・乳腺内分泌外科学)		
BM-1	肺癌診療における免疫チェックポイント阻害薬の歩み—導入から適応拡大まで— 清水 淳市 (愛知県がんセンター呼吸器内科)	

BM-2	腫瘍微小環境における免疫細胞の動態 熊谷 尚悟 (国立がん研究センター研究所腫瘍免疫研究分野)	
BM-3	PD-L1 TPS の現在地 國政 啓 (大阪国際がんセンター呼吸器内科)	
BM-4	肺がん免疫療法における TMB と MSI の意義 葉 清隆 (国立がん研究センター東病院呼吸器内科)	
BM-5	これからの免疫治療のバイオマーカー: MRD 善家 義貴 (国立がん研究センター東病院)	
BM-6	これからの免疫治療におけるバイオマーカーの展望 宮内 栄作 (東北大学病院呼吸器内科)	

JS	JLCS-IASLC Joint Symposium	9:00~10:30
11月6日(第1日) 第3会場		
Perioperative treatments		
座長: Karen Kelly (International Association for the Study of Lung Cancer)		
山本 信之 (和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座)		
Greeting message (Video)		
Caicu Zhou (Department of Oncology, Shanghai East Hospital/Shanghai Pulmonary Hospital, Tongji University School of Medicine, China)		
JS-1	Global Directions in Perioperative Lung Cancer Care: MDT Integration and the IASLC's Mission Karen Kelly (International Association for the Study of Lung Cancer)	
JS-2	Perioperative treatment for early-stage NSCLC: Japanese perspective 堀之内秀仁 (国立がん研究センター中央病院呼吸器内科)	
JS-3	Perioperative Lung Cancer Treatment from a Surgical Perspective in Europe. Paul Van Schil (IASLC President, Antwerp University Hospital and Antwerp University)	
JS-4	Perioperative Lung Cancer Treatment: A Medical Oncology Perspective in the United States Alex A. Adjei (Cleveland Clinic Cancer Institute Cleveland, Ohio, USA)	

JS-5 Perioperative Lung Cancer Treatment from a Surgical Perspective in Korea and Asia
Hong Kwan Kim (Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul, Korea)

学 S1 学術委員会企画シンポジウム 1 14:05~15:35

11月6日(第1日) 第5会場

最新の研究手法(空間遺伝子解析/デジタルパソロジー/オルガノイド/ミトコンドリア変異/Liquid biopsy など)

座長: 渡部 聡(新潟大学医歯学総合病院)

松原 大祐(筑波大学医学医療系診断病理学)

学 S1-1 新規患者層別手法の開発に向けた難治性肺癌の空間的遺伝子発現解析

鈴木 絢子(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

学 S1-2 腫瘍微小環境におけるミトコンドリア伝播による免疫逃避機構

池田 英樹(千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学/千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部)

富樫 庸介(千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部/岡山大学学術研究院医歯薬学域腫瘍微小環境学/岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科)

学 S1-3 Building a Global Nexus for Lung Cancer Research Methodology and Community

藤本 淳也(広島大学病院広島臨床研究開発支援センター)

学 S2 学術委員会企画シンポジウム 2 13:00~14:30

11月8日(第3日) 第3会場

新たな治療標的候補分子(SMARCA4・KRASG12X・B7-H3・MTAP など)

座長: 林 秀敏(近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門)

山田 忠明(京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

学 S2-1 B7-H3 を標的とした抗体薬物複合体(ADC; Antibody-Drug Conjugates) 治療について

米阪 仁雄(近畿大学医学部腫瘍内科)

学 S2-2 新たな治療標的候補としての SMARCA4—肺癌におけるエピゲノム脆弱性と臨床実装への展望—

國政 啓(大阪国際がんセンター呼吸器内科)

学 S2-3 ヒト白血球型抗原遺伝子解析とネオアンチゲン予測による非小細胞肺癌患者の根治切除後予後予測
松井 琢哉(愛知県がんセンター呼吸器外科部/愛知県がんセンターシステム解析学分野/名古屋市立大学呼吸器小児外科)

学 S2-4 KRAS G12X 阻害薬

衣斐 寛倫(愛知県がんセンターがん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野/愛知県がんセンターゲノム医療センター/名古屋大学大学院医学系研究科先端がん治療学分野)

EOS English Outstanding Session 16:55~18:25

11月7日(第2日) 第1会場

Chairs: Pasi A. Jänne (Dana-Farber Cancer Institute Harvard Medical School)

Jacob Sands (Dana-Farber Cancer Institute, US)

EOS-1 Amivantamab+Lazertinib vs Osimertinib in 1L EGFR-mutant Advanced NSCLC: Final OS from MARIPOSA Study

Hidetoshi Hayashi (Department of Medical Oncology, Kindai University Faculty of Medicine, Japan)

EOS-2 First-line (1L) Osimertinib (osi) ± Chemotherapy (CTx) in EGFRm Advanced NSCLC: FLAURA2 Final OS

Kunihiko Kobayashi (Department of Respiratory Medicine, Saitama Medical University International Medical Center, Hidaka, Saitama, Japan)

EOS-3 SAVANNAH: Savolitinib+osimertinib in EGFRm aNSCLC and MET OverExp/Amp following PD on osimertinib

Yoshimasa Shiraishi (Department of Respiratory Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Japan)

EOS-4 Zongertinib in patients (pts) with previously treated HER2-mutant advanced NSCLC: Beamion LUNG-1

Naoki Inui (Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics, Division of Respiratory Medicine, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan)

EOS-5 Tarlatamab versus chemotherapy (Ctx) as 2L treatment for SCLC : Primary Analysis of Ph3 DeLLphi-304

Tatsuya Yoshida (National Cancer Center Hospital, Japan)

EOS-6 Neoadjuvant nivolumab+chemo vs chemo in resectable NSCLC : 5y final data of JP subgroup, CheckMate 816

Tetsuya Mitsudomi (Izumi City General Hospital / Department of Innovative Medicine, Faculty of Medicine, Kindai University)

EOS-7 Surgical Outcomes After Neoadjuvant Osimertinib ± Chemotherapy in Resectable EGFRm NSCLC : NeoADAURA

Masahiro Tsuboi (Department of Thoracic Surgery and Oncology, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa, Japan)

EOS-8 Atezolizumab plus carboplatin and paclitaxel in patients with advanced or recurrent thymic carcinoma (MARBLE)

Yasushi Goto (Department of Thoracic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan.)

EOS-9 Durvalumab and chemotherapy in ES-SCLC patients with poor performance status (NEJ045 A study)

Ryo Morita (Department of Respiratory Medicine, Akita Kousei Medical Center, Akita, Japan.)

編集 編集委員会企画

16 : 45 ~ 17 : 15

11月6日(第1日) 第7会場

学会誌講演

座長：吉田 達哉 (国立がん研究センター中央病院呼吸器内科)

日本肺癌学会英文誌『International Journal of Lung Cancer』創刊について

演者：岡本 勇 (九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野)

CD 特別報告

11 : 10 ~ 12 : 10

11月6日(第1日) 第11会場

コンパニオン診断薬の製造上の問題にどう対応すべきか?

座長：谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院)

柴田 大朗 (国立研究開発法人国立がん研究センター研究支援センター)

CD-1 富樫 謙一 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社マーケティング本部)

CD-2 溝口 忠久 (ライフテクノロジーズジャパン株式会社)

パネルディスカッション

パネリスト：木村 俊成 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

伊藤 竜太 (厚生労働省医薬局医療機器審査管理課)